

< 渡良瀬遊水池湿地保全・再生委員会報告資料 >

2019.09.30

渡良瀬遊水地野鳥観察会活動報告

渡良瀬遊水地野鳥観察会 関口 明

- 1 第91回渡良瀬遊水地野鳥観察会（遊鳥会）定例観察会資料（平成30年12月15日）
 - ・11月17日 [REDACTED] 観察結果
 - ・ [REDACTED] 観察鳥
- 2 第92回渡良瀬遊水地野鳥観察会（遊鳥会）定例観察会資料（2019年01月19日）
 - ・12月15日 [REDACTED] 観察結果
 - ・カモ類群れと猛禽類
- 3 第93回渡良瀬遊水地野鳥観察会（遊鳥会）定例観察会資料（2019年02月16日）
 - ・1月19日 [REDACTED] 観察結果
 - ・1月19日チュウヒのねぐら入り調査結果
- 4 第94回渡良瀬遊水地野鳥観察会（遊鳥会）定例観察会資料（2019年03月09日）
 - ・2月16日 [REDACTED] 観察結果
 - ・2月干し上げ中の鳥類の様子
- 5 第95回渡良瀬遊水地野鳥観察会（遊鳥会）定例観察会資料（2019年04月20日）
 - ・3月9日 [REDACTED] 観察結果
 - ・ヨシ焼きとコウノトリ
 - ・3月干し上げ中の鳥類の様子
- 6 第96回渡良瀬遊水地野鳥観察会（遊鳥会）定例観察会資料（2019年05月18日）
 - ・4月20日渡良瀬遊水地シギ・チドリ観察結果
 - ・4月水入れ中の鳥類の様子
- 7 第97回渡良瀬遊水地野鳥観察会（遊鳥会）定例観察会資料（2019年06月15日）
 - ・5月18日オオセッカの繁殖調査結果
 - ・＜オオセッカ繁殖調査結果（2010年～2019年）＞
- 8 第99回渡良瀬遊水地野鳥観察会（遊鳥会）定例観察会資料（2019年09月21日）
 - ・8月17日ツバメのねぐら入り観察様子
 - ・コウノトリ4羽集合
 - ・近隣市町の鳥類の様子（板倉町、小山市）＜調整池、水張り田圃＞

第 91 回 渡良瀬遊水地野鳥観察会（遊鳥会）定例観察会資料（平成 30 年 12 月 15 日）

<前回の観察会から> 前回（11 月 17 日）は、[]を一周し、湖沼の水鳥、樹林の鳥を観察しました。見られた鳥は、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヒヨドリ、シジュウカラ、スズメ、カワラヒワ、メジロ、コゲラ、キジバト、ホオジロ、アオジ、ウグイス、モズ、ジョウビタキ、ベニマシコ、ツグミ、シメ（樹林 17 種）、カルガモ、マガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ホシハジロ、カワウ、オオバン、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ダイサギ、アオサギ（水鳥 11 種）、チュウヒ、トビ、（猛禽 2 種）、総数 30 種（漂鳥・冬鳥 11 種）でした。平成 29 年 12 月の []観察会では、総数 40 種、水鳥 16 種、29 年 1 月では、総数 46 種、水鳥 19 種でした。昨年観察され、今回観察出来なかった種は、ハジロカイツブリ、キンクロハジロ、ミコアイサ、コハクチョウ、カワセミ、ハクセキレイ、カシラダカ、オオジュリン、キジ、オナガ、ムクドリ、ハヤブサ<以上は見られる>、カワアイサ、セグロカモメ、アトリです。前回と比べても、飛来する種は来ているが、数は少なく感じられます。

<鳥便り> []、[]、[]等、各種の冬鳥が来ています。



コチョウゲンボウ 12/2 : []



チュウヒ 12/10 : []



ミサゴ 12/8 : []



コハクチョウ 11/26 : []



マガモ幼鳥? 12/10 : []



マガモ群れ 11/26 : []



オシドリ 12/4 : []



ハジロカイツブリ 12/8 : []



シメ 11/30 : []

<今回> 今回は、[]を中心に観察します。2017 年 11 月 18 日の観察会では、24 種（樹林 15 種、水鳥 5 種、猛禽 4 種）でした。（※ 2016 年 37 種、2015 年 35 種、2014 年 30 種）

<次回> 次回 2019 年 1 月 19 日は、基本は「チュウヒのねぐら入り」を観察します。集合は、ハートランド城 14 時 30 分です。尚、午前中に、第 2 調節池の []の調査を行います。こちらにも参加いただける方は、ハートランド城 8 時 30 分に集合してください。現在、[]にはたくさんの水鳥がいて面白いです。12 月 10 日の午後は、チュウヒが 4 回、ミサゴが 1 回出ました。11 月 26 日にはミサゴが水に飛び込む姿も見られました。

第 92 回 渡良瀬遊水地野鳥観察会（遊鳥会）定例観察会資料（2019.1.19）

＜前回の観察会から＞ 前回（12 月 15 日）は、[] の樹林の鳥を観察しました。見られた野鳥は、ヒヨドリ、カワラヒワ、スズメ、ホオジロ、アオジ、カシラダカ、アトリ、ベニマシコ、アカゲラ、シメ、シジュウカラ、ジョウビタキ、モズ、コゲラ、ウグイス、カケス、キジバト、キジ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、カワウ、カルガモ、コガモ、ノスリ、オオタカ、トビ、の 26 種（樹林 20 種、水鳥 3 種、猛禽 3 種）です。2017 年 11 月 18 日では 24 種（樹林 15 種、水鳥 5 種、猛禽 4 種）でした。（※ 2016 年 37 種、2015 年 35 種、2014 年 30 種） 今回の観察会では、[] を渡り、スタートした直後に、アカゲラ、アトリ、シメが見られ、ヒヨドリ、スズメ、カワラヒワ集団に出会いました。やっと野鳥たちがやってきたと思ったら、その後は、数は少なく感じられました。エサとなる草木の種子が蔓草に覆われ少なかったり、2018 年末冬の気温が高かったり、その影響が感じられます。2 年連続で、観察される野鳥が少なく感じられる観察会でした。

＜鳥便り＞ [] ではチュウヒのバトル、[] ではハヤブサがヒドリガモ等の群れを蹴散らす様子、[] では多数のヨシガモ（100 羽＋）をオオタカが蹴散らす様子が観察されました。[] では、[] さんがアオゲラを見つけました。



アオゲラ 12/23 : [] : []



ベニマシコ 1/2 : []



ホオジロ（シラガ？） 1/2 : []



カワアイサ 1/2 : []



ヨシガモ 1/5 : []



オオタカ幼鳥 1/2 : 同左



マガン 12/19 : []



チュウヒ 1/2 : []



ハヤブサ 1/2 : []

＜今回＞今回、午前中は [] の野鳥を観察・記録します。観察出来た野鳥の種名及び数の記録をします。午後は、ねぐら入りをするチュウヒを観察し、数を記録します。14 時 30 分ハートランド城集合となります。

＜次回＞ [] を 1 周し、水鳥、樹林の野鳥を観察したいと考えます。ご意見を伺います。

第 93 回 渡良瀬遊水地野鳥観察会（遊鳥会）定例観察会資料（2019.2.16）

＜前回の観察会から＞ 前回（1 月 19 日）は、午前中 [] の野鳥調査、午後チュウヒのねぐら入り調査を実施しました。当日は風が強く、観察野鳥に影響がありました。

【①大型鳥採餌休息実験地】観察野鳥は、ダイサギ（50）、カイツブリ（1）、カンムリカイツブリ（2）カルガモ（6）、カワウ（8）、ミコアイサ（4）、コハクチョウ（1）、コウノトリ（1）、トビ（1）、チュウヒ（3）、ノスリ（2）、ミサゴ（1）、ハシボソガラス（1）、オオジュリン（1）、スズメ（42）、キジ（2）、合計 16 種（水鳥 8 種、猛禽類 4 種、樹林 4 種）でした。強風のため、ダイサギ等ヨシ際に風よけし、池中央には種数、数とも大変少ない感じました。別紙 [] 野鳥調査の結果から、動向を推察してください。尚、[] 様からたくさんの調査情報をいただきました。



【②チュウヒのねぐら入り】ねぐら入りするチュウヒの数を、オオセッカの繁殖地の真ん中を通る舗装道路を東西に分けてカウントしました。調査結果は、道路東側は 4 羽、道路西側は 22 羽、合計 26 羽（※最大数）でした。今までの実績は、25 年（最大値 40 羽）、26 年（33 羽～31 羽）、27 年（62 羽～40 羽・降雪によりねぐらが 2 箇所に分かれる）、28 年（30 羽～25 羽）、29 年（41 羽～42 羽）、30 年（59 羽）です。今年は、飛来しているチュウヒの数が少ないようです。

《※チュウヒ：[] 2/4、[]》

＜観察台工事＞谷中ブロック野鳥観察台の工事が始まりました。工期は 3 月 29 日までとなっています。これで、やっと安心して野鳥観察が出来ます。



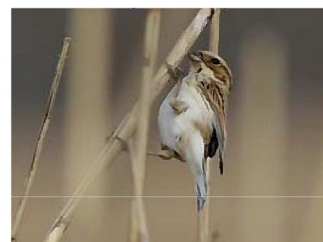
＜鳥便り＞ 谷中湖の干し上げが開始され、水量が下がってきました。それに伴い水鳥達の種類、数が変化しているように感じます。観察会等では観察種 30 種前後が多く、その中で水鳥の種はそれなりですが数は少なく、又、樹林の鳥は種類、数とも極端に少なく感じられます。



クイナ：[] 1/15 []



ベニマシコ：[] 2/2 []



オオジュリン：[] 2/5 []



シメ：2/7 []



コミミズク：[] 2/10 []



カワアイサ：[] 12/17



ヒドリガモ：1/30 []



カンムリカイツブリ：1/30 []



カワウ：2/7 []

＜今回＞ [] を一周し、水鳥、樹林の鳥を観察します。

＜次回＞ 3 月 9 日（第 2 土曜日）、猛禽類を観察（未定）します。（※ 3 月 16 日はヨシ焼きのため）

第 94 回 渡良瀬遊水地野鳥観察会（遊鳥会）定例観察会資料（2019.3.09）

＜前回の観察会から＞ 前回（2 月 16 日）は、[REDACTED]を一周し、樹林や湖沼・水辺の野鳥を観察しました。18 名の参加者で、晴天、無風、暖かさと絶好の観察日よりでした。[REDACTED]では、水が



かなり抜かれており、水鳥達は、水の残っている場所に集まっていました。観察野鳥は、ベニマシコ、シジュウカラ、シメ、キジバト、モズ、ツグミ、ムクドリ、ホオジロ、エナガ、ジョウビタキ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、コゲラ、オオジュリン、シロハラ、カワラヒワ、アトリ、アオジ、アカゲラ、スズメ、ドバト、（樹林 21 種）、マガモ、カルガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、カワアイサ、ミコアイサ、キンクロ

ハジロ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、タゲリ、セグロカモメ、（水鳥 15 種）、チュウヒ、トビ、（猛禽 2 種）、総計 38 種でした。2018 年 11 月は 30 種でしたので、多くの種が観察出来たと感じました。

＜お知らせ＞ [REDACTED]さんが 10 月開催した遊鳥会写真展をまとめてくれています。

＜鳥便り＞ [REDACTED]や [REDACTED]周辺では、ベニマシコ、アリスイ、オオジュリンが見られ、多くのカメラマンが写真撮影を楽しんでいます。これら 3 種は、繁殖地は北海道（一部東北地方）であり、冬を越すため、遊水地周辺にやって来てくれ、私達を楽しませてくれています。尚、2 月 17 日に、コウノトリのキララの死亡が確認されたと野田市の HP にありました。残念なことです。ヒカル君が巣材を運ぶ様子を [REDACTED]さんが撮影してくれました。また、[REDACTED]さんが、ホオアカの写真を [REDACTED]で撮ってくれました。コミミズクは、数は少ないようですが多くのカメラマンが集合しています。



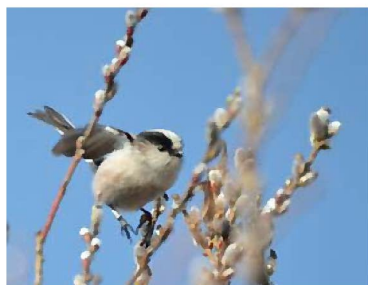
ベニマシコ：2/25（ガガイモ）



アリスイ：2/27 [REDACTED]



オオジュリン：1/30



エナガ：2/16 [REDACTED]（足環）



ホオアカ：3/1 [REDACTED]



コミミズク：2/27 [REDACTED]



コウノトリ：2/27 [REDACTED]（巣材運び）



アオサギ：2/24



コハクチョウ：2/22 [REDACTED]

＜今回＞ [REDACTED]を一周し、水鳥や樹林の鳥を観察します。

＜次回＞ 4 月 20 日（第 3 土曜日）は、シギ・チドリを中心に観察する予定です。

第 95 回 渡良瀬遊水地野鳥観察会（遊鳥会）定例観察会資料（2019.4.20）

＜前回の観察会から＞ 前回（3月9日）は、ヨシ焼き（第3土曜日）を避け、第2土曜日に実施しました。観察箇所は、[]を一周し、樹林や湖沼・水辺の野鳥を観察しました。17名の参加者でした。水鳥達は水の残っている場所に集まっていました。観察野鳥は、シジュウカラ、スズメ、ウグイス、ホオジロ、ムクドリ、ヒバリ、ヒヨドリ、アオジ、カワラヒワ、モズ、ドバト、キジバト、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ツグミ、シメ、ベニマシコ、アトリ（樹林18種）、ダイサギ、アオサギ、ハクセキレイ、タヒバリ、ツルシギ、タゲリ、カルガモ、マガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、コガモ、ハシビロガモ、ミコアイサ、ホシハジロ、カイツブリ、セグロカモメ（水鳥16種）、ミサゴ、トビ、コミミズク（猛禽3種）、総計37種でした。尚、前回の[]の



【コミミズク：3/9 []】

観察では、38種でした。

＜ヨシ焼き＞ 3月16日、ヨシ焼きが実施されました。燃えさかる中、コウノトリ（ヒカル君）



が巣塔に残り続ける姿が話題となりました

【巣を守るヒカル：3/16】

【元気に飛ぶヒカル：3/18 []】

た。

＜鳥便り＞ []が干潟状態の時、タゲリ、オオハシシギ、エリマキシギが来ました（[]さん情報）。今年は、ヨシ焼き後のヨシの芽吹きが遅く、シギ、チドリの動きも少なく感じられます。現在、鳥達の動きは活発になり、また、入れ替わりつつあります。



【オオハシシギ：[] 3/18】

【キンクロハジロ：[] 3/18】

【キジ：第1、3/26】



【オオジュリン：3/13】

【ニューナイスズメ：[] 3/25】

【ケリ：[] 3/18】

＜今回＞シギ・チドリを中心に観察する予定です。

＜次回＞5月18日（土）、オオセッカの繁殖調査をする予定です。

○4月年度初めですので、年間計画を作成しました。ご意見をください。

○渡良瀬遊水地HPに、観察会の日程を掲載しています。

第 96 回 渡良瀬遊水地野鳥観察会（遊鳥会）定例観察会資料（2019.5.18）

<前回の観察会から> 前回（4月20日）は、渡良瀬遊水地のシギ・チドリの観察を目的としました。昨年の調査では、■■■■、■■■■、■■■■において全部「ゼロ」でした。また、最近の様子



では、■■■■ではシギ・チが見られず、■■■■ではツルシギが見られたとの情報（■■■■さん）がありましたので、■■■■も観察地にしました。オオセッカのさえずりが始まりましたのでこれも堪能しました。■■■■では、コチドリを2羽観察出来ました。ダイサギを観察中、コウノトリが飛来しました。■■■■では、セイタカシギ1羽、頭の黒いツルシギを8羽観察することが出来ました。また、通過中のコムクドリ、ニュウナイスズメも観察出来ました。18名の参加者でした。観察野鳥は、オオセッカ、セ

ッカ、ウグイス、ヒバリ、エナガ、コジュケイ、ツグミ、アオジ、ホオジロ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、シジュウカラ、シメ、カワラヒワ、キジ、ドバト、ガビチョウ、コムクドリ（多）、ニュウナイスズメ（多）【樹林20種】、ダイサギ、アオサギ、コウノトリ、カワウ、カルガモ、コガモ、ハシビロガモ、ヒドリガモ、マガモ【水鳥①9種】、コチドリ2、タシギ2、セイタカシギ1、ツルシギ8【水鳥②4種】、トビ【猛禽1種】、総計34種でした。

<鳥便り> 4月になり、■■■■に水が入りました。今年は、水量が少なく、■■■■では、セイタカシギ、ツルシギ、ヘラサギ、チュウシャクシギがやって来ました。これらは、水が増えると去って行きました。水量の関係で貴重な鳥達が見られました。夏鳥もやってきています。



【シロチドリ：■■■■ 4/5】



【セイタカシギ：■■■■ 4/22】



【チュウシャクシギ：■■■■ 4/27】



【ヘラサギ：■■■■ 4/24】



【オオセッカ：第1、4/22】



【オオヨシキリ：第1、4/28】



【オオタカ：第1■■■■ 4/27】



【サシバ：第3■■■■ 4/24】



【チョウゲンボウ：第1、4/24】

<今回>オオセッカの生育調査を行います。方法は、オオセッカの囀り（♂）と目視で行い、場所は、■■■■にいたる道路を東西に分け歩きます。昨年は、西側3羽、東側16羽でした。

<次回>渡良瀬遊水地周辺市町の猛禽類を観察する予定です。集合：8時30分、ハートランド城

第 97 回 渡良瀬遊水地野鳥観察会（遊鳥会）定例観察会資料（2019.6.15）

<前回の観察会から> 前回（5 月 18 日）は、オオセッカの繁殖調査を行いました。調査結果は、西側 17 羽、東側 12 羽（最大）、XXXXXXXXXXで 3 羽でした。総計 32 羽は、調査開始（2010 年）以来最大数です。また、西側が東側を上回ったのは、2013 年のヨシ焼きが 2 年ぶりに再開されて以来のことです。今年はヨシがよく燃えました。その後気候の影響から、ヨシの生育がよくない状態となりました。毎年、4 月下旬にはオオセッカの轉り、繁殖が始まります。今年は、オオセッカは、繁殖場所を求め、いつもの場所から広い範囲に散らばりました。ヨシが成長しない結果だと思われます。今回観察された野鳥は、オオヨシキリ、コヨシキリ、セッカ、オオセッカ、キジ、ヒバリ、ホオジロ、ウグイス、キジバト、カワラヒワ、モズ、ツバメ、ハシボソガラス、ヒヨドリ、シジュウカラ、カワセミ、アオサギ、ダイサギ、ヨシゴイ、サン

カノゴイ、カルガモ、チョウゲンボウ、ノスリ、トビ、【ヨシ原：15 種、水辺・湖沼：6 種、上空：3 種、総計 24 種】です。（前年度 16 種）

<鳥便り>観察会で聞けなかったカッコウ、ホトトギスの鳴き声は、1 週間後に聞くことができました。今年もオオヨシキリ、コヨシキリ、オオセッカ、セッカ、ヒバリが多数観察され、夏の渡良瀬遊水地のヨシ原の様子が窺えます。6 月には、コアジサシがXXXXXXXXXXに来ています。キリキリキリと鳴きながら、水面に飛び込み小魚を捕っています。尚、例年子育てをしているトラフズクがいつもの場所にいません。XXXXXXXXXXでは、フクロウが子育てをしています。XXXXXXXXXXのサシバは、今年も頑張ってます。XXXXXXXXXXのアオバズク、ツミはまだ、分かりません。

<情報>渡良瀬遊水地エリア検討部会（遊水地を取り巻く 10 の市町が参加）において、アクションプランが作成されました。エコツーリズムが計画され、その中に「野鳥観察台や鷹見台での野鳥に関するレクチャー」、宿泊地における夜の「鳥類に関する勉強会」等が含まれております。その時は、遊鳥会にも要請が来る事も考えられます。



【オオセッカ：第 1、XXXXXXXXXX 5/31】



【セッカ：第 1、XXXXXXXXXX 5/24】



【オオヨシキリ：第 1、5/23】



【コヨシキリ：第 1、XXXXXXXXXX 6/2】



【ヒバリ：XXXXXXXXXX、6/8】



【コアジサシ：XXXXXXXXXX、XXXXXXXXXX 6/2】

<今回> 予定は近隣の猛禽類観察でしたが、コアジサシの観察ではいかがでしょうか。

<次回> 8 月 17 日（土）、ツバメのねぐら入り観察です。集合は、「ハートランド城」16 時です。尚、7 月の観察会はありません。

第 99 回 渡良瀬遊水地野鳥観察会（遊鳥会）定例観察会資料 （2019.9.21）

＜前回の観察会から＞ 前回（8 月 17 日）は、ツバメのねぐら入りを観察しました。初めに昨年のねぐら入り観察場所である [] から [] を観察しました。ツバメの数は少なく、ダイサギが [] 方面に帰る様子が観察出来ました。次に今回の観察場所である [] に向かう丁字路（2017 年観察場所）で観察しました。水路上を飛ぶ姿、道路を横切り飛ぶ姿、ヨシの上を飛ぶ姿が観察出来ましたが、昨年まで見る事が出来た万を超すツバメの姿は観察出来ませんでした。その後（8 月後半）は、かなりの数が集まってきたように感じます。



＜ [] ねぐら入りの様子 8/29 左：スズメ、中：ムクドリ、右：ツバメ＞

＜鳥便り＞ 7 月、 [] でイソシギの写真を [] さんが撮ってくれました。8 月、コウノトリが 4 羽（ヒカル、カズ、レイ、不明）、 [] に来ていました。8 月は子育ての季節、 [] では幼鳥が育っています。9 月、夏水田圃（小山市）にシギやチドリがやって来ています。



＜イソシギ 7/13、 []＞



＜コウノトリ 8/12＞



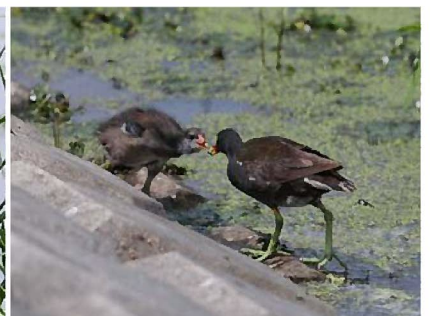
＜タマシギ 8/22、板倉町＞



＜ゴイサギ幼鳥 8/20＞



＜ヨシゴイ幼鳥 8/29＞



＜バン親子 8/29＞



＜コモンシギ、ムナグロ 9/7＞



＜アオアシシギ 9/4＞



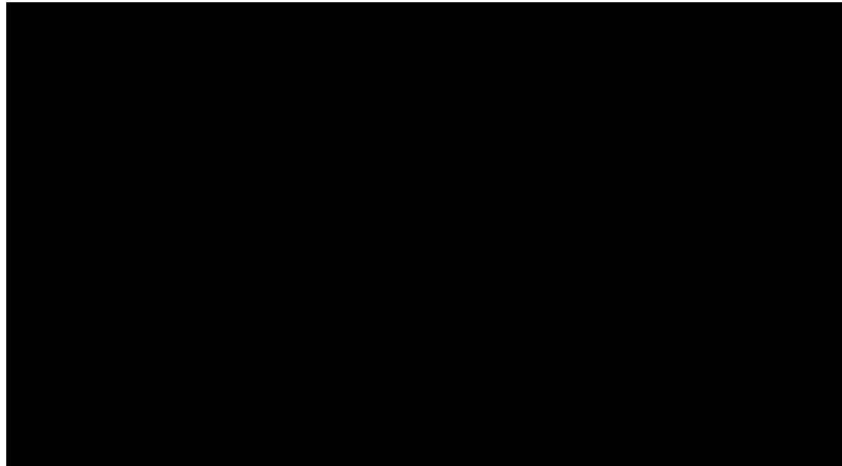
＜イカルチドリ 9/4＞

＜今回＞ [] 周辺で、南に帰るため通過する夏鳥を観察する予定です。

＜次回＞ 10 月 19 日（土）、「ハートランド城」8 時 30 分集合です。

尚、昨年は [] の調査を行いました。

オオセッカの繁殖調査結果（2010 年～ 2019 年）



実施期日	確認数			備考
		他	計	
2010. (H22)	4 羽		4 羽	
2011. (H23)	5 羽	2 羽	7 羽	
2012.5.19 (H24)	8 羽	4 羽	1 3 羽	生育の悪いヨシとスゲ等の混成した草原、5 月 3 日大雨、西側冠水
2013.5.18 (H25)	8 羽	1 3 羽	2 1 羽	ヨシ焼きが 2 年ぶりに再会 小雨量
2014.5.17 (H26)	8 羽	4 羽	3 羽	1 5 羽
2015.6.20 (H27)	1 8 羽		1 羽	1 9 羽
2016.5.21 (H28)	2 0 羽			2 0 羽
2017.5.21 (H29)	2 4 羽	5 羽		2 9 羽
2018.5.19 (H30)	1 6 羽	3 羽		1 9 羽
2019.5.18 (R1)	1 2 羽	1 7 羽	3 羽	3 2 羽